

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	学校給食の現代的課題に関する調査研究		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度・未定		<b>担当課室</b>	学校健康教育課		学校健康教育課長 大路 正浩		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、 通知等</b>	—				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	近年、学校給食を取り巻く様々な課題が生じており、各設置者において、その対応に苦慮している状況にある。こうした状況から、その行政上の課題に対応するための調査研究等を実施することにより、その課題改善を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	中学校における学校給食の実施率改善、学校給食費未納問題への対応、個別指導への対応など、学校給食を取り巻く行政上の課題に対応するための調査研究等を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		15.9	8.0	7.4	38.7	
		繰越し等		-	-	-	-	
		計		15.9	7.1	7.4	38.7	
	執行額			2.5	3.1			
	執行率(%)			15.7%	43.7%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	学校給食を取り巻く行政上の課題について調査研究することを目的とする事業であり、定量的な成果目標等を定めることは困難。			成果実績	—	—	—	—
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	「学校給食の現代的課題に関する調査研究」については、調査研究のみを行うものであり、活動指標等を数値で定量化することは困難。			活動実績 (当初見込み)	件	( — )	( — )	( — )
<b>単位当たりコスト</b>	—			算出根拠	—			
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0百万円	8.5百万円	「学校給食の衛生管理等に関する調査研究」をメニュー化し、本事業に統合。				
	職員旅費	0百万円	1.6百万円					
	委員等旅費	0百万円	11.5百万円					
	庁費	0百万円	12.6百万円					
	教職員研修費	0百万円	4.5百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	7.4百万円	0百万円					
	計	7.4百万円	38.7百万円					

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、学校給食を取り巻く行政上の課題に対応するため、調査研究等を実施することによりその課題の改善を図るものであり、国として実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保し、コストの削減に努めているところである。 不用率が大きくなっている理由は、一般競争入札を実施した結果、契約価格が予定を大幅に下回ったことによる。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	一般競争入札を実施することで、低コストでの事業実施を実現している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	<p>・予算の執行については、一般競争入札により、公平性・透明性・競争性を確保している。</p> <p>・事業の予算額と執行額に乖離が見られるため、翌年度の予算規模・事業内容については、各年度の執行状況等を踏まえ、より効率的・効果的なものとなるよう、十分に検討する必要がある。</p>				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業全体の抜本的改善	<p>1. 事業評価の観点:本事業は、近年、学校給食を取り巻く様々な課題が生じており、各設置者はその対応に苦慮している状況にあることから、その行政上の課題改善を図るため調査研究を行う事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:当該事業は、平成23年度、24年度決算において多額の不用額が生じていることから、不用額が生じた要因を詳細に分析したうえで、平成26年度概算要求に予算の大幅な縮減を反映すべきである。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	<p>本事業については、支出先の選定に当たって、一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。その結果、契約価格が当初の予定を下回ったものと分析しているが、平成26年度以降も同様の取組を継続して実施するものとし、また平成24年度決算で生じた不用額を踏まえ、概算要求に▲7百万円反映した。</p>				
備考					
<p>○第2次食育推進基本計画(平成23年3月31日 食育推進会議決定)  <a href="http://www8.cao.go.jp/syokuiiku/about/plan/index.html">http://www8.cao.go.jp/syokuiiku/about/plan/index.html</a></p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	新23-0073	平成24年	0352

文部科学省

3. 1百万円

〔学校給食における行政上の課題に対応するための調査研究等の実施〕



【一般競争入札・請負】

A. 開仁産業（株）

3. 1百万円

〔学校給食を実施する上で、学校給食を取り巻く課題等の中から、その課題等についての実態を把握するための調査を行う。〕

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.開仁産業(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査研究費	アンケート調査の集計・分析等	3.1			
計		3.1	計		0.0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0

### 支出先上位10者リスト

#### A. 学校給食の現代的課題に関する調査研究

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	開仁産業(株)	学校給食を取り巻く課題等についての実態を把握するためのアンケート調査等	3.1	2	97.26%